

「孤独・孤立による支援課題を抱える人の支援ハンドブック」  
プロジェクトチームでの協議内容

① 第2回プロジェクトチーム（令和5年3月23日開催）

【議 事】

- ・ 「孤独・孤立による支援課題を抱える人の支援に関するアンケート調査及びヒアリング調査」結果について
- ・ 「孤独・孤立による支援課題を抱える人の支援ハンドブック」アウトライン（案）について

【いただいたご意見】

- ・ 具体的な事例があるとリアリティがありわかりやすい
- ・ 具体例や問題を解決するためのポイントや連絡先・相談先を整理した方がよい
- ・ 想定される場面やQ&Aがあるとわかりやすい
- ・ 権利擁護支援センターはケアマネジャーには敷居が高く感じる
- ・ フローチャートで視覚化した方がわかりやすい

② 第3回プロジェクトチーム（令和5年6月28日開催）

【議 事】

- ・ 孤独・孤立による支援課題を抱える人の支援ハンドブックについて

【いただいたご意見】

- ・ 緊急で医療同意のサインが必要になった時の対応（解決方法等）の記載があるとよい
- ・ 「見守り体制の構築」に関しては、チーム支援の成功例やプロセスに関する成功例があるとよい。また、誰がどのような役割をするのか明確に記載されている方がよい。
- ・ 自分の業務対象外の人が来られた時に新人でもわかるように、どこに相談したら良いかが記載しているとわかりやすい
- ・ 意思確認シートについて、認知症になる前や施設に入る前等、使う時期やどう活用するかを明確にした方がよい
- ・ 家族・親族だけではなく、友人・知人等関わる人がいるとした方がよいのではないか